



歴史をめぐり・自然を感じる 高野山麓体感スポット

…日本遺産  …世界遺産



祈りを感じ
修験者の魂を尊ぶ

約1250年の歴史を紡ぐ聖地・高野山への玄関口となる高野七口の1つ「黒河道(くろこみち)」は、橋本市から黒河口に至る参詣道で、文禄3(1594)年、豊臣秀吉が高野参詣の帰途に用いたといわれています。また、和歌山・大阪・奈良にまたがる修験道誕生の地・葛城では、法華経を埋納した28の経塚などを巡って行う修行や行場を総称した「葛城修験」が日本遺産に登録されています。長い歴史が刻まれたこの地は、今を生きる人々が足を運び続けることで、後世に伝え遺されていくのです。

 **定福寺**
じょうふくじ



MAP C-3

高野山真言宗の寺院で、世界遺産である高野参詣道・黒河道のスタート地点と言われています。境内にある九重塔は、鎌倉時代中期・弘安8(1285)年に建立された砂岩製層塔です。本尊の木造阿彌陀如来坐像(像高88cm)は檜材の一木造りで、平安期の10~11世紀のもので、和歌山県指定文化財に認定されています。

☎ 0736-32-2141 📍 橋本市賢堂 285



▲黒河道マップはこちら
(橋本市「黒河口女人堂跡」)


 **五軒畑岩掛観音**
ごけんばたいわかけかんのん



MAP C-3

市内清水・西畑・向副・賢堂・南馬場で巡礼する、ミニチュア西国巡礼が文政13(1830)年から始まりました。岩掛観音は西国巡礼札所第14番・大津三井寺にあてられています。周囲の展望がひろいため、ここから美しい橋本市街や和泉山脈を一望することができます。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市賢堂

 **藁谷の滝・赤石**
わらんたにのたき・あかいし



MAP C-3

標高約230mに位置する藁谷(わらんたに)最大の滝で、落差は5m程度。霊場高野山へ向かう道中の心がリフレッシュされます。滝から少し南へ行くと、黒河道に突き出た赤石が現れます。この石が行き交う旅人の目印とされていたそうです。赤石よりさらに南には、九度山町と橋本市の境界があります。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市西畑

 **小峯寺**
おみねじ



MAP A-3

小峰山にある小峯寺は、役行者の開基といわれる、古くから修験道の行場であった古刹です。境内には、役行者の母の墓と伝わる十三重の塔や、和歌山県指定文化財である天授5(1379)年の銘が刻まれた、結晶片岩製の宝篋印塔が安置されています。毎年3月には、秘仏である馬頭観世音菩薩の御開帳が行われています。

☎ 0736-37-0250
📍 橋本市小峰台 2-1

 **行者まいり**
ぎょうじゃまいり



MAP A-3

行者まいりは無形民俗文化財に指定されている伝統行事です。毎年1月2日に行われ、水と半紙にミカン、祝柿、栢実を包み、西ノ行者堂に参拝します。西ノ行者堂は紀見峠から千早峠への尾根筋にあり、役行者の石像が祀られています。参拝後、下山の際に薪を拾いながら帰宅することを仕事始めとしていました。

☎ 0736-33-6106 (橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市社本



◀ 橋本市内にある「葛城修験」ストーリー構成文化財はこちら


 **宮ノ講と葛城神社
年越し行事**

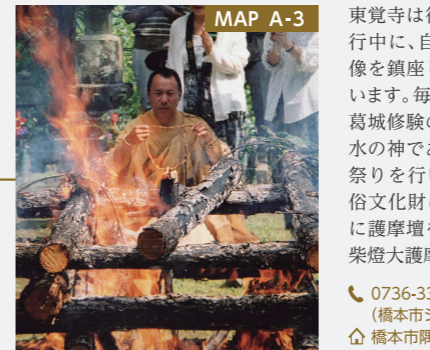


MAP A-3

市内にある葛城神社で行われる恒例行事(無形民俗文化財)です。葛城神社は神主不在のため、地元の講員12軒が元旦から1年交代で祭事を執り行っています。大晦日の深夜には、宮ノ講員が神社の100m北にある滝で精進潔斎の修行を行います。

☎ 0736-33-6106 (橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市社本 270

 **東覚寺
八大龍王・葛城明神春祭り**



MAP A-3

東覚寺は役行者が葛城山中での修行中に、自ら刻んだ石造薬師如来像を鎮座したのが始まりとされています。毎年4月末~5月上旬には、葛城修験の本尊である葛城明神と水の神である八大龍王のための春祭りをを行います。春祭りは無形民俗文化財に指定されており、屋外に護摩壇を組んで護摩木を燃やす柴燈大護摩が行われています。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市岡田町山内 629

 **南葛城山鏡宿
安楽行品(経塚)**



MAP A-1

南葛城山の山頂付近に2基の自然石が置かれた修験の行所です。「紀伊続風土記」に記載された、葛城修験道二十八宿の第十四経塚として考えられる2説のうちの1つとされています。(もう1つは河内長野市の「光滝寺(仏徳多和 安楽行品)」楠木正成が遠見をして鏡を埋めたという言い伝えが残されています。)

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市高野口町九重

 **不動山の巨石
(史跡)**



MAP A-3

明王寺から635段の階段を上った先にある巨石群で、中央の巨石には不動明王、金剛童子、八大龍王が祀られています。役行者が葛城山から吉野・大峯へ橋を架けるため、一言主神に石を集めさせたものといわれ、巨石の穴に耳をあてると紀の川のせせらぎのような音色が聞こえることから、日本の音風景百選に選定されています。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市杉尾

歴史を感じるビュースポット

 **五光の滝**
ごこうのたき

「五光の滝」の名は、日光を受けて滝のしぶきが五色の虹のように輝いていたことに由来します。修験者の行場にも使われていました。



MAP D-3

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市北宿


 **嵯峨の滝**
さかのたき



MAP B-1

一本杉ハイキングコースの中にあります。嵯峨天皇が休憩したとの言い伝えが残っており、信太神社の修行場でした。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市高野口町九重

 **信太神社のクスの木**
しのだじんじやのくすのき



MAP B-1

信太神社境内のクスの老樹。本幹の根元にクロガネモチの壮樹齡が抱合されている県の天然記念物です。

☎ 0736-33-6106
(橋本市シティプロモーション課)
📍 橋本市高野口町九重 283